北海道別海高等学校　キャリア教育推進部通信

Life Compass

第３号　2019年12月5日　発行

別海人　～べつかいびと～

誰にも気づかれなくても 見えないところで頑張っている人がいる。
何気ない日常を陰で支える仕事に魅力を感じました。

佐藤　亮　さん ～別海町教育委員会～



佐藤　亮　さん

別海町教育委員会の学務課で勤務しています佐藤亮(さとうまこと)です。学務課は町内の小学校や中学校、幼稚園に関わる業務や、教育委員会全体に関する業務を行う部署です。私が担当している総務では、別海高校の支援やコミュニティスクールのことも扱っています。

就職のきっかけとなった年賀状配達のアルバイト

高校生の頃、年末年始に郵便局で年賀状配達のアルバイトをしていました。配達では届け先の人に直接手渡しすることよりも、郵便受けの中に入れてくることの方が多いんですね。直接渡せなければ、話をすることもできないし、喜ぶ姿を見ることだってできない。ただ、私はそこに仕事の魅力を感じたんです。誰にも気づかれなくとも見えないところで頑張っていて、誰かの支えになっている仕事。何気なく過ごす当たり前の日常を支える仕事。そんな仕事って絶対必要なんです。

年賀状配達をするまでは、郵便物が届くことは当たり前のことだと思っていて、その裏側に人の支えがあることなど考えもしませんでした。実際に働いてみると、郵便物が手元に届くまでには本当に多くの人が関わっているのだとわかったんです。この仕事に限らず、町の人たちが当たり前に暮らしている陰では頑張っている人がいる、私もそのような仕事に就きたいと考えるようになりました。そこで選んだのが、別海町役場への就職でした。

仕事は大変なのが当たり前



別海町役場へ就職した当初は大変でした。上下関係、上司からの指示の聞き方、組織内での情報共有、報告・連絡・相談等々、学生のままの考え方ではいけないと気を引き締めたのを覚えています。

若い頃に職場の上司から言われたことが今でも深く心に残っています。

「仕事は大変なのが当たり前」

仕事では、たくさん調べたり、たくさん考えたり、言いたくないことを言ったり、苦情を言われたり、辛いことはたくさんありますが、働いて給料をもらうのだから、それが当たり前なのだと教わりました。



高校までの勉強は全力でやらなければ、それが自分に返ってきますよね。ただ、仕事は全力でやらないと、それが周りの人や町民に返っていってしまいます。それはあってはいけません。今でも仕事をしていると、言い訳を正当化して楽をしようとしたり、大変な作業から目を背けたりしたくなることがあります。そのときは「仕事は大変なのが当たり前」と言い聞かせ、良い仕事をすることを第一に心がけています。

ただ、就職してからこれまでを思い返してみても、私は本当に上司や同僚に恵まれています。多くの人の支えがあって、ここまでやってこられました。自分が悩んでいるときや困っているときに同僚から声をかけてもらって、助けてもらったことが多々あります。今後もたくさん助けてもらいながら仕事をしていくと思いますが、いつか私も周りの人に支えてもらったように、周りの人の力になれればいいなと思っています。

人の素晴らしい部分に気づける人になりたい

普段心がけていることなのですが、人の良い部分に気づいて、「この人はここが素晴らしい」と見つけられる人になりたいと思っています。人は誰しも良い部分を持っていますが、なかなかそこに気づいてあげられないことが多いような気がします。人の悪い部分を見つけるのは簡単なのに、良い部分に気づくことは意識しないと難しいと思うんです。他人の良さに気づける人を見ると、なかなかできていない私は感動してしまいます。人の良い部分を見つけられる人が多くなり、互いのよい部分を活かし合っていけたなら、きっと社会は今よりも良い方向に向かっていくのだろうと思います。人の素晴らしい部分に気づける人に私は憧れています。

書くことは伝えること、読むことは感じること

これは、私が大切にしている言葉です。文章を書くときは読む人に内容が的確に伝わるように意識して書き、読むときは書いた人が何を伝えたかったのかを考え、感じながら読む。相手のことを思い遣る心を持ち続けることの大切さを教えてくれています。そして、これは書くことと読むことに限らず、話すことと聞くこと、さらには人と人が関わることの本質を表しているのだと考えています。

別海高校の生徒のみなさんへ

身近な大人の話をよく聞いておきましょう。たとえば、先生や親の話でしょうか。その大人たちは、みなさんの気づかないところまで考えて話を伝えてくれています。反発したくなることもあると思いますが、みなさんのことを思う気持ちを感じて、まずは受け止めてみることをお勧めします。

高校生のみなさんには、１日１日を大切に、積極的に多くの経験を積んでほしいと思います。そして、努力を惜しまずに自分自身を磨いていってください。みなさん一人ひとりの力で、別海高校がより輝かしく魅力的な学校になることを願っています。

（Interviewer & Writer:田村　Photographer:窪田）



佐藤　亮（さとう まこと）

別海町教育委員会　学務課総務担当主査

北海道中標津町　出身

・座右の銘

「書くことは伝えること、読むことは感じること」

・将来の夢

いつまでも楽しく健康で過ごすこと

宇都宮へ餃子を食べにいくこと